

広報かねやま

KANEYAMA

September

9

2024

No.741

金田百年祭



【特集】

ひと紡ぎ

September

9

2024
No.741

広報かねやま

KANEYAMA

9月行事予定表

1 (日)	金山町総合防災訓練 (有屋地域)
3 (火)	人間ドック・総合健診 1歳6か月健診
4 (水)	すこやか相談
5 (木)	心配ごと相談 子宮頸がん・乳がん検診
11 (水)	読み聞かせ・お話し会
15 (日)	福寿会
17 (火)	心配ごと相談
18 (水)	すこやか相談 人間ドック・総合健診
20 (金)	健診結果説明会
25 (水)	心配ごと相談
26 (木)	ベビーマッサージ・ママケア教室
30 (月)	心の健康相談

8/30~9/5 防災週間
9/21~9/30 秋の交通安全県民運動

目次

- P3 【特集】ひと紡ぎ
- P8 【特集】7月豪雨災害を振り返る
- P10 金山まつり
- P12 二十歳を祝う会
- P14 まちのわだい
- P16 町政NEWS
- P19 お知らせ掲示板
- P20 ゼロカーボン通信
ほっとクリニック・はじめてのBirthday
- P22 図書室だより
東京金山会通信・ぶんげい
- P24 わたしの願い

今月の表紙



8月18日、旧めばえ幼稚園を会場に100周年記念映像の撮影会(百年祭)が開催され、ご来場いただいた方々と一緒に100年に一度の集合写真を撮影しました。

町長室から

9月1日は「防災の日」です。そして、8月末から9月初めが「防災週間」です。しかし、自然災害はいつ来るかわかりません。しかも、最近では、激甚化、頻発化しています。7月25日から26日にかけて、当町を含む最上管内、庄内地方と隣県秋田県内にも、大きな傷跡を残しました。大雨警報、土砂警戒情報が発令されるなど、これまで経験のない降雨量が記録されています。6月半ばまでは深刻な水不足状態でしたが、7月に入ったら一変して、豪雨の山が2回ありました。7月7日から10日にかけては大雨警報の発令などから「高齢者等避難」を出しました。3世帯10名の方が避難されました。そして、再度、7月24日から26日にかけては、大雨警報に続いて、「土砂災害警戒情報」が発令されました。これにより、中田地域全域、漆野、谷口地域に「避難指示」を出しました。10世帯27名の方が避難されました。災害では、「空振り」はあっても、見逃しはあってはならないことを踏まえて、気象情報をつぶさに確認して、「避難指示」を出すとともに、それに伴った準備、段取りを進めて、避難所開設をしました。避難された方からは安心していただけたと思います。今回の豪雨災害は、当町では人的被害はなく、家屋の被害は若干ありましたが、大きくはありませんでした。それでも、道路や農地への冠水、土砂流入と法面の崩れ、畦畔の崩れ、山林の土砂崩落、小学校プールへの倒木・土砂の侵入、スキー場の迂回路の崩落など、多くは中小規模ですが、全体としては大きな被害となりました。近隣の市町村では、人的被害、家屋の被害とともに、道路の寸断、農地、山林の崩壊、停電、断水を含めて、大規模の災害が発生しています。一日も早い復旧・復興が望まれますが、一足飛びにはいきません。さらに、水田や畑地への冠水の影響が収穫にどれほどの影響となるかも心配です。9月1日には町の防災訓練も実施しました。「備えあれば憂いなし」とはいえ、備えのレベルが適切なのか、検証・検討して、次に生かしていく必要があります。



町長 佐藤 英司

人生一度きり。
後悔のないようにワクワクを創造し
人と人との想いを紡いでいきたい。



①信金の森での打合せの様子。こだわりのメニューや内容について毎日意見交換を行います。②作成途中のメニュー表。お客さんが見やすいように数回作り直し、オススメメニューは毎週作り変えている。③お世話になっているホテルシェーネスハイム金山の高橋忠雄支配人(左)と庄司大寛副支配人(右)。④美しい自然に囲まれたホテルシェーネスハイム金山。

人々の交流の拠点として Kamuro hütteが紡ぐひとの縁

宮城県仙台市から移住し、金山町での暮らしを始めた2人が
CAFÉ & BAR「Kamuro hütte」を開業した理由とは。
人と人とを紡ぐ「縁結び」からひも解く地域の未来について。



おおも じゆん
大友 淳
キャンプ、バイク、スノーボード、釣りなどのアウトドアが趣味。雇用創出、地域の場づくりのため金山町に移住。宮城県仙台市出身。

さわの みか
澤野 美香
キャンプ、焚火が趣味。野外で食べることを、料理を作ることが好きで「日々楽しく生きる」をモットーにするチャレンジャー。宮城県仙台市出身。

町の未来を「対話」から模索していきたく 2人が描く、地域に根差したCAFÉ&BAR

美しい高原にたえずホテルシェーネスハイム金山。金山杉と古城のレンガで建築され、神室の大自然に調和した姿はまるでヨーロッパドイツにある集落のような雰囲気を感じさせてくれます。そんな異国情緒溢れるホテルの一面にCAFÉ & BAR「Kamuro hütte」(以下「ヒュッテ」)をオープンさせた大友淳さん。ヒュッテをオープンするまでは仙台市の冷凍食品会社に勤め、大手食品会社の商品管理や現場立ち上げ、新人教育を約20年間行ってきたそうです。そんな大友さんはなぜ、宮城県仙台市から約150キロ離れた大自然の中でヒュッテをオープンすることを決意したのだろう。

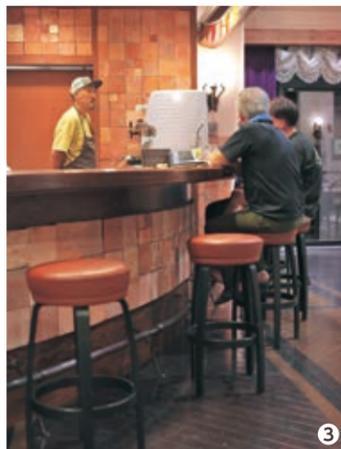
仙台市内で勤務されていた大友さんと澤野さんは趣味である山菜取りやキャンプを楽しむため、東北各地を巡り、様々な人や土地柄に触れ、多くの見聞を深めました。そんな日々を過ごす中、山菜採りに誘われ、なにげなく訪れた金山町の大自然と人々のあたたかさに魅せられ金山町に移住することを決意。「神室トラウトファームの池田達哉さんや神室キャンプサイトの菅圭一さん、遊学の森の上重幸さん、ホテルシェーネスハイム金山の庄司大寛さん、認定こども園めぐたまの井上巨先生など、金山町に移り住む前に多くの方々を知り合いました。皆さんから様々な話をお聞きする中で、金山町や神室一帯を盛り上げていきたいという強い信念が感じられました」と大友さん。「金山町民とのコミュニケーションが出来た事は大きなきっかけでした。私たちがまだ観光客だった頃、神室キャンプサイトをよく利用していました。その際、雰囲気はいいのに明かりの灯らないホテルのバーカウンターを見かけ、寂しさを感じたのをよく覚えていますが。同時に「このバーカウンターを活用したい」という気持ちが生えました」と澤野さんは続けます。熱い想いを持つ町民に刺激を受けた大友さんと飲食店経営が夢だった澤野さんは、活用される頻度が減っていたホテルシェーネスハイム金山の「レストランパル」をヒュッテとしてリニューアルオープンすることを決意。令和6年4月から金山町での暮らしを始めます。

お店のオープンに向け、さっそく準備をはじめた二人はホテルの雰囲気に合わせて、ドイツをイメージしたメニュー作りとSNSでのオープンの告知などを行いました。「特にメニューには強いこだわりを持っています。ありきたりなメニューにならないようにオリジナルのアレンジを加えているのでぜひヒュッテに食べに来てほしいです」と語る大友さんは令和6年6月28日、念願のCAFÉ&BAR「Kamuro hütte」をオープンさせました。「ドイツ語で「小屋」という意味なんです。ホテルの雰囲気にも合うし、とても気に入っています」と笑う澤野さん。続けて「晴れた日にテラス席に座ってみると、自分でも「この場所最高」と思います。目の前がキャンプ場で、同じエリアには山形県初の管理釣り場「神室フィッシューマンズロッジ」が間もなく完成する予定です。ヒュッテはアウトドア、アクティビティ、カフェ、お酒好きにはたまらない場所になりました」と嬉しそうに魅力を紹介してくれました。

私たちの夢。 それは人と人とを紡ぐこと

ヒュッテをオープンするにあたり、二人には大きな目標が2つあります。1つ目は神室のファンや金山町のファンを増やすこと。単なる飲食店としての役割だけでなく、金山町の魅力発信や観光案内の一助を担い、ホテルやキャンプサイトの利用者にとって居心地の良い場所を提供すること。2つ目は町の活性化のため、奮闘する多くのチャレンジャー(挑戦者)が交流し・学び・模索することが出来る拠点にしていきたいこと。大友さんにとってチャレンジャーとは町外から移り住んできた人だけではなく、これまで町のために奔走してきた区長さんや議員さん、地区のお父さん、お母さん、若者の事を指し、熱い想いを持った町民が夢を語る環境をここから創出していきます。

ヒュッテは人と人とを紡ぐ交流の場として、そして人々が夢を語る場所に生まれ変わります。町の魅力を多くの人に伝え、輪が広がっていく。それは二人が初めて金山町に訪れた時に感じた感覚そのものなのです。



①落ち着いた雰囲気の内装は「hütte」を訪れる全ての人に特別な時間を与えます。②各テーブルにはランプやキャンドルが置かれている。③おすすめはカウンター席。大友さんと澤野さんとの会話が楽しめます。

美味しいお酒とスイーツで「対話」を
こだわりのつまんだメニュー

「美味しいお酒とおつまみ、スイーツがあれば『対話』が生まれます。対話が生まれば、地域づくりのヒントが見えてくるかもしれません」と語る大友さんのオススメドリンクは小麦麦芽を使用し、苦みが少なく柔らかい味わいのドイツ産ビール3種類とビールとレモネードを1対1で割った飲みやすいピアカクテルです。その他にも贅沢でオシャレなフルーツビールや、ピンクグレープフルーツジュレが入った見た目鮮やかで遊び心のあるソフトドリンクを提供しています。

フードメニューを担当している澤野さんのおすすめメニューは5品。外はカリカリ、中はホクホクに揚げた芋と粗びきソーセージをマスタードなどで味付けした「ジャーマンポテト」。「自家製ビクルス」はパプリカ・人参・ズッキーニ・セロリ・きゅうり・大根・カブなど、季節の野菜にスパイスを加え漬けています。カラフルで見た目も楽しく、さっぱりとちょうど良い甘さが楽しめます。「ソーセージ盛合せ」は厳選した3種類のソーセージに乳酸発酵させたドイツのキャベツ料理が盛り付けられています。また、スチームオーブンで焼いた「手作りプリン」は卵の優しい甘味に特製のカラメルソースが絡み、食べ飽きない丁度いいサイズ。「チョコレートパフェ」はアイスとコンフレック、ココアスポンジにたっぷりのクリームとバナナなどのフルーツが盛り付けられ、お酒を飲まない方や子ども楽しめる一品。



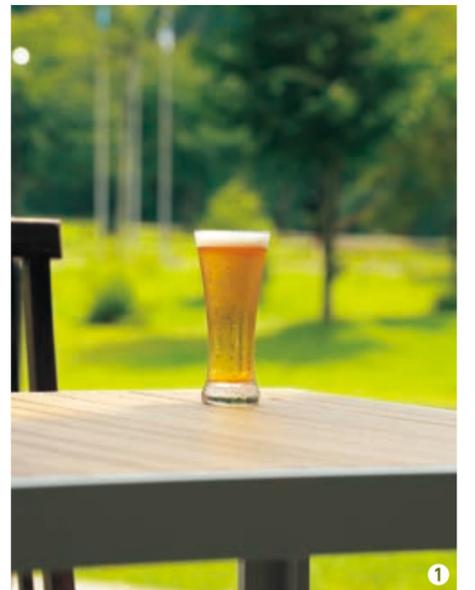
①ジャーマンポテトはあらびきソーセージとホクホクの芋にマスタードソースをたっぷりからめ炒めます。焼きたてのソーセージはパリパリ、ジューシー。②常連客と会話をする澤野さん。美味しいお酒とおつまみで話が盛り上がります。③人気のノンアルコールドリンク。デザートと一緒にどうぞ。④まずはビールで乾杯。⑤オシャレでパリエーション豊富なメニュー。

町民からみたHutten 2人の人物像

18時。ヒュッテを訪れた三上重幸さん（柳原）は冷えたビールをぐっと飲みながら「神室の景色を眺めながら飲むドイツビールは最高。金山町を愛している2人がこの店をオープンしてくれて本当に嬉しい。思う存分活躍して欲しい」と想いを語ります。同席していた三上俊一さん（新庄市）は「ここは町民の交流の場になりつつある。同席した人との繋がりも出来た。2人ともバーが似合っているし、人柄もいい」と続けます。19時30分。職場の仲間とドイツ料理を楽しむ村山達郎さん（七日町）は「キャンプ、スキー、サップなどのアクティビティの他にドイツ料理とお酒が楽しめるなんて、最高のロケーションです」と仲間との話を花を咲かせます。

「最上」に、山形に、金山町あり」 多くのきっかけをここから

「町の方に『金山町に来てくれてありがとう』と言われると、自分も町の一員になったのだと実感します。まだ開店して数日ですが、『インスタみてるよ』『ヒュッテに来るためにホテルの予約をしました』と多くの反響をいただき、ありがたく思っています。また、協力してくださる方、応



①厳選したドイツビール。塩気のあるドイツ料理を食べながらテラス席で飲む一杯は至福の時間です。②ジャーマンポテト、自家製ビクルス、ソーセージ盛り合わせ。③手作りプリンとチョコレートパフェ。④数種類のチーズの盛り合わせ。きっとお気に入りのチーズに出会えるはず。手がとまらなくなるトルティーヤチップスとサルサソースのセット。⑤こんがり焼いたトルティーヤの中にはしっとり蒸した鶏胸肉、パプリカ、チeddarチーズが挟まれており、マイルドかつスパイシー。サルサソースにディップすればビールとの相性抜群。隣に並ぶのはピンクグレープフルーツジュレが入ったシュワシュワサイダー。

援してくださる方。声をかけてくださる町民の方に心から感謝しています。本当にありがとうございます。どんなことも何がきっかけになるかは分かりませんが、「最上」に、山形に、金山町あり！」と多くの人に知ってもらうには、金山に住む我々次第だと思っています。同じ志を持っている仲間を増やして、楽しく、苦労をいとわず、金山町を盛り上げていきたいです。そう力強く語る大友さん、澤野さん。強い決意を胸に金山町での新たな挑戦が始まります。

金曜、20時。去年まで薄暗かったバーカウンターからは賑やかな声が聞こえ、廊下には優しい光がもれる。金山町にまた一つ、夢のある輝きが灯ったようだ。

ひと紡ぎ 完

問合せ

【場 所】山形県最上郡金山町大字有屋1400
ホテルシェネスハイム金山1階
【営 業】17:00～21:00 金・土・祝前日
【駐車場】30台

予約やお問合せは公式Instagramのダイレクトメッセージ(DM)からお願いします。Instagramでは営業案内や最新のメニュー情報などが確認できます。アカウント名@kamuro_hutte



町を襲った未曾有の豪雨

令和6年7月中旬から降り続いた雨は、最上地域や秋田県南を中心に甚大な被害をもたらしました。金山町では、特に7月7日から10日までの4日間で241mm、同月24日から26日の3日間で265mmと、断続的に激しい雨が降り、金山町の1か月間の雨量としては観測史上最大の降水量である793・5mmを記録しました。

金山町の歴史の中で、避難指示などの避難情報を発令したことはこれまで一度もありませんでした。しかし、7月10日には町で初めて高齢者等避難（レベル3）を発令し、同月25日には避難指示（レベル4）を相次いで発令。

今回の豪雨災害により、町では小学校体育館脇の土砂崩れをはじめ、田畑の冠水や道路への土砂流入など、各地に大きな爪痕を残しました。完全な復旧までは、相当な時間を要すると考えられます。今回の大雨や、近年の雨の降り方を鑑みると、金山町も「災害の無い町」とは言えなくなってしまうかもしれません。ひとりひとりが、災害について真剣に考え、行動していかなければなりません。

※見開き写真：金山小学校体育館脇土砂災害

主な避難情報

【7月8日(月)～9日(火)】

複数回の大雨警報発表

【7月10日(水)】

09:14 大雨警報発表

17:45 高齢者等避難発令

上中田/下中田/外沢
杉沢/漆野/入有屋/下向

【7月11日(木)】

07:00 高齢者等避難解除

09:50 大雨警報解除

【7月25日(木)】

07:31 大雨警報発表

07:54 土砂災害警戒情報発表

09:15 避難指示発令

上中田/下中田/杉沢
外沢

16:30 避難指示拡大

小蟬/漆野/谷口

【7月26日(金)】

17:00 土砂災害警戒情報解除

17:30 避難指示解除

21:32 大雨警報解除



被災地支援の様子

7/27～

7月24日から豪雨で特に被害が大きかった鮭川村に、災害協定に基づき星川建設株式会社(商工会工業部会)と町職員が派遣され、村民や避難者に対し給水車による支援活動を実施しました。また、8月6日からは、罹災証明書の発行手続きなどの支援のため、町職員が交代で鮭川村へ派遣され、活動を行いました。

【過去の比較】

▼降水量(1日)

1位 2018・8/5 (312.5mm)
2位 2011・6/23 (196.5mm)
3位 2024・7/25 (171.5mm)

▼降水量(1か月)

1位 2024・7月 (793.5mm)
2位 2013・7月 (789.5mm)
3位 2018・8月 (679.0mm)

※7月平均降水量(258mm)

【被害状況】

▼人的被害 無し

▼建物被害 1件(公共施設)

▼田畑・水路 112件(7月末時点)

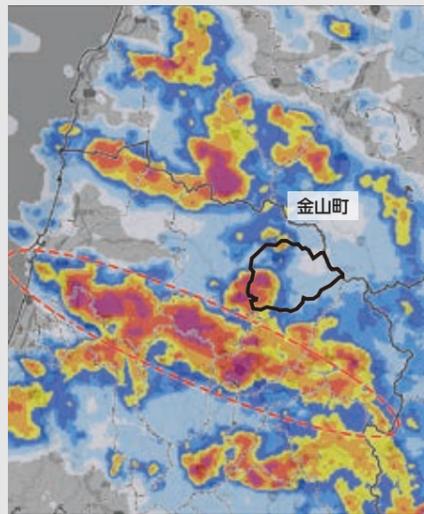
▼国災害救助法を適用

▼避難所開設 地域福祉センターやくし苑
ホットハウスカムロ

▼避難者数 10世帯27名(最大)

雨雲の様子

7/25



庄内地方を中心に、線状降水帯が発生し、断続的に激しい雨が降りました。山形地方気象台から発表される、5段階の災害危険度のうち、2番目に危険度が高い「レベル4(紫)」の情報が町内の広い範囲に発表され、気象台は、金山町に「土砂災害警戒情報」を発表し、この発表を受け、金山町は4地区(上中田・下中田・外沢・杉沢)に避難指示を発令しました。その後、新たに3地区(小蟬・漆野・谷口)にも避難指示を発令し、避難対象者は延べ136世帯383名にのぼりました。

(画像提供：山形地方気象台)

防災情報

災害時に備え、避難所やハザードエリアを確認!

県防災ポータルサイト
「こちら防災やまがた」



気象庁
「キキクル」



国土地理院
「重ねるハザードマップ」



①カムロスキー場迂回コース-大規模土砂崩れ ②内町住宅付近-冠水によりポンプで排水作業 ③町道上台前山線-土砂崩れによる全面通行止め ④河川敷(中学校裏)-河川の増水により水没 ⑤杉沢地区中田春木川-増水による越水 ⑥下中田河川敷-増水により河川敷浸水 ⑦県道仁田山平岡線-土砂崩れによる道路閉塞 ⑧金山小学校(体育館側校舎)-土砂崩れによる浸水 ⑨蒲沢地区内-雨水の流入

【問合せ】 役場町民税務課 くらし安全係 ☎29-5609 FAX: 52-2004

金山まつり

百年の
想いひとつに。

8月14日から16日までの3日間「金山まつり」が開催され、初日には夜空市と煌びやかにライトアップされた山車パレードが開催されました。15日は八幡神社例大祭の日。伝統ある神輿行列を先頭に、5地区の若連が制作した大迫力の山車が囃子と、威勢の良い掛け声とともに町内を練り歩きました。強い日差しの中、豪華絢爛な山車を一目見ようと、沿道には沢山の観覧客の姿がみられ、山車コンクールでは、七日町若連の風流「紅葉狩(もみじがり)」が最優秀賞を受賞しました。夜には、役場前通りでプロジェクションマッピング「KANEYAMA FANTASY NIGHT」や盆踊り大会、勝手にカラオケ大会、絵灯籠の展示が行われ、多くの人で賑わいました。最終日には「納涼花火大会」を開催。大輪の花火が金山の夜空を彩り、金山まつりの幕が下りました。

プロジェクションマッピング

KANEYAMA
FANTASY
NIGHT





20年前の出来事

- ▼営団地下鉄が民営化され東京メトロになる。
- ▼日本で新札が発行され、千円札は野口英世、五千円札は樋口一葉に。▼東北楽天ゴールデンイーグルス誕生。▼アテネオリンピックで日本が金メダルを16個獲得。



令和6年

二十歳を祝う会

8月14日、金山町農村環境改善センターで「金山町二十歳を祝う会」を開催しました。対象となるのは、平成15年4月2日から、平成16年4月1日までに生まれた55名で、スーツや華やかなドレスに身を包んだ43名が出席しました。式典では佐藤町長による式辞や栗田保則議長による祝辞、恩師の岸宏子先生から激励の言葉をいただき、実行委員長阿部英翔さんの代表のことばのあと、実行委員の三上将輝さんが交通安全「誓いのことば」を述べました。式典後は、実行委員8名が企画した「二十歳の集い」が開催され、久しぶりに再会した同級生達と近況報告や当時の思い出話に花を咲かせ、交流を楽しみました。

二十歳を祝う会は、人生で一度しかない晴の日。新成人の皆さんは今までお世話になった方々への感謝の気持ちと未来への希望を胸に新たな歩みの第一歩を踏み出しました。

社会を突き動かす原動力に

金山町で生まれ育ったことと小さい頃から馴染み親しんだ金山町という素晴らしい郷土があることを誇りに刻み、仕事や勉学、自身の目標に向かって歩んでいただきたい。また、これからも冷静な「判断」と果敢な「挑戦」、豊かな「経験」を積み上げ、社会を突き動かす原動力となって大きく飛躍してほしい。



金山町長 さとう えいじ 佐藤 英司

自分の生き方に誇りと責任をもって歩んでいきたい

「二十歳を祝う会」という晴れの日を迎えられたのは、温かな心で支えてくれた家族や指導してくださった先生方、私たちを見守ってくれた皆様のおかげだと感謝しています。これからは社会を支える一員としての自覚を胸に刻み、自分の生き方に誇りと責任をもって歩んでいきたい。



実行委員長 あべ えいと 阿部 英翔さん

大人気イベント 魚つかみ取りが開催

8月3日、金山川河川公園で金山町漁業組合主催の「魚つかみ取りイベント」が開催されました。大人気のこのイベントには幼児から小学生までの子ども達が参加し、会場には保護者も含め約100名が参加しました。放流された魚は『いわなや』のヤマメ150匹、イワナ70匹、コイ1匹で、参加した子ども達は素早く動く魚をずぶ濡れになりながら追いかけてきました。イベントに参加した丸山悠乃葵さん(山崎)は「参加は今年で3回目。来年はもっと捕まえたい」と嬉しそうに感想を述べてくれました。



荒屋地区のひまわり畑 今年も満開に



今年も荒屋地区のヒマワリが満開になりました。数千本のひまわりを育てたのは、金山町出身で天童市在住の花輪洋子さん。花輪さんは「1日で40人以上来てくれました。雨の影響もなく綺麗に咲いてくれて嬉しい」と笑顔で語ってくれました。また、岩手県からひまわりの写真を撮りに来た昆野ゆかさんは「遠くから見ても迫力があるひまわり畑に驚いた。高台があるので子どもから大人までが楽しめるビューポイントだと感じた」と感想を述べてくれました。

英語が好きになる時間 金山町グローバルミーティング



8月1日に、ホテルシェーネスハイム金山において今年で3回目となる「金山町グローバルミーティング」が開催され、金山小学校6年生と金山中学校1年生の希望者16名が英語にふれる一日を過ごしました。県立新庄南高金山校と金山町、真室川町のネイティブスピーカーに講師を依頼し、ゲームや劇を通して英語に親しみました。生徒、児童からは「英語で友だちとコミュニケーションがとりたい」という強い意欲がみられ、自分が知っている英語を使いながら楽しい時間を過ごしました。

100周年記念映像撮影夏

金山町町制施行100周年記念式典の開催に向け、昨年の2月から実施してきた100周年記念映像撮影の全工程が完了しました。撮影班が一丸となって行われた夏の撮影では金山町に住む人々のくらしや、主人公「紘美」のストーリーシーン、北村落さんの演奏シーンなどが取られました。また8月18日に実施した「金山百年祭」には多くの方々にご参加いただき、思い出に残る撮影会となりました。長期間にわたりご協力いただいた多くの町民の皆様にご心から感謝いたします。100周年記念映像は10月5日の記念式典で公開されます。お楽しみに。



◀ 記念映像の楽曲を担当された北村落さん(山形県出身)(左)。2015年から作曲をスタートし、2023年から東京を拠点に活動を開始。FUJI ROCK FESTIVAL '23 ROOKIE A GO-GOなどに出演。
 ▶ 記念映像の主人公(紘美役)として出演されたAnnaさん(山形市)(中央)と主人公の友達役として出演したのNanaさん(山形市)(右)。2人は山形を拠点に活躍するダンス&ボーカルユニットMPF☆Bのメンバー。

まちのわだい

身近なわだい、お寄せください。
 総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

育英会奨学生が懇談会



▲講話の様子

8月16日、町育英会奨学生35名が出席し、育英会奨学生懇談会が開催されました。有限会社クリタ園芸代表取締役会長栗田義夫さん（新庄市）、金山小学校教諭高橋恭祐さん（七日町）、社会福祉法人金山厚生会みすぎ荘生活相談員丹亮太郎さん（稲沢）から、それぞれ自身のこれまでの貴重な体験談やこれから社会人の仲間入りをする奨学生に期待することなどをテーマとした講話をいただきました。講話の後、グループごとに奨学生が、現在学んでいることや今後の学生生活の目標などの近況報告を行い、有意義な時間となりました。

「東北のへそ」三県交流まつりを開催 金山町の魅力を発信しました



▲出店の様子

7月20日、21日に東北地方の「へそ」（真ん中）に位置する宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域、山形県最上地域の3地域の観光PRを行うイベント「東北のへそ三県交流まつり」が仙台市勾当台公園市民広場で開催されました。金山町からは農事組合法人いずえむのピーナッツ商品と（株）食のカコーポレーションのあげそばを出店しました。来場者からは「こんなに近くでピーナッツが栽培されているのは知らなかった」「金山はいつも素通りしてしまうけれど今度寄ってみたい」などの声がありました。出店を通して町の情報や魅力を発信できる良い機会となりました。

打ち水プロジェクト始動 夏の暑さ対策に



▲自宅前で子ども達と打ち水を行う佐藤町長

7月13日から金山町町制施行100周年記念イベント「かねやま打ち水プロジェクト」が始まりました。初日の13日には、町長が自宅前で打ち水プロジェクトのキックオフを行いました。地球温暖化により猛暑日が続く熱中症リスクが高まるなど、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしています。「打ち水」は、日本で古くから行われてきた身近に取り組みする暑さ対策です。ぜひ皆さんの暮らしに取り入れてみませんか。

第80回全日本空手道連盟和道会 東北空手道選手権大会



▲東北大会で優秀な成績を収めた伊藤煌珂さん

7月28日、岩手県宮武道館において第80回全日本空手道連盟和道会東北空手道選手権大会が開催されました。大会には金山小学校2年伊藤煌珂（凝山）さんが出場し、小学2年生男女形個人戦で第2位、小学2年生男女組手個人戦で第5位の成績を収めました。東北各地のライバルを前に臆することなく日ごろの弛まぬ稽古の成果を発揮しました。今後の活躍を期待しています。

西郷地域モリアゲマルシェ 世代間交流会が板橋で

8月4日、板橋地区公民館で第3回世代間交流会が開催されました。このイベントは高橋久男板橋区長が、「どの家に誰がいるか顔と名前を知ることが地域の宝である子どもたちの見守りに繋がる。多世代の交流は大事なこと」と地区へ呼びかけを行い3年前に始まったもので、今年の交流会には約30世帯、70名ほどの住民が集いました。

新庄市在住で板橋出身のエッセイスト山本佳子さんの講演会や、手作りの料理を囲み参加者の家族紹介、カラオケ歌謡ショーなどで盛り上がりしました。

また、今回は役場職員プロジェクトチームが提案した「地域モリアゲマルシェ」を朴山・長野・谷口・漆野を含めた西郷地域として同日開催しています。地区の若手消防団員を中心に出店があり、マルシェには町内外からも多数の来場者があり、美味しい料理に舌鼓を打ちました。

朴山地区松田哲夫区長は、「若手に元気があって地区を盛り上げていることが素晴らしい」長野地区・小柴俊次区長は、「招待されて嬉しい。とても良い行事で来て良かった」と板橋地区の皆さんに敬意を表していました。大成功に終わったイベントで地区の絆と交流がさらに深まったようです。



▲西郷地域モリアゲマルシェの様子

交通安全母の会が 交通事故・特殊詐欺防止を呼びかけ



▲帰省客（車）対象ドライブマナー啓発及び事業所訪問

7月5日、金山町交通安全母の会主催で、新庄警察署及び関係団体のご協力のもと、町内の一人暮らし高齢者世帯153世帯を訪問し、熱中症対策の飴と夜光反射材を配布しました。活動に参加した21名が、一軒一軒訪問し、特に夜間の交通事故や特殊詐欺など身近にある犯罪に遭わないよう呼びかけました。また、8月2日に帰省者を対象にドライブマナー指導をファミリーマートやまろく店駐車場で実施し、その後町内事業所47件を訪問し、飲酒運転撲滅やながらスマホ運転の危険を呼びかけました。

金山校みらいサポート町民会議 まち全体で人を育む仕組みづくり



▲盤所杏子氏による講演の様子

8月9日、中央公民館多目的ホールで、令和6年度金山校みらいサポート町民会議が開催され、町内外から40名ほど出席して頂きました。その中で、株式会社Edo 取締役副代表 盤所杏子氏による講演が行われました。「まち全体で人を育む仕組みづくり～飛騨市学園構想の事例から～」という演題で「人口減少をマイナスにだけ捉えるのではなく、この町の資源を見つめなおし、多様な方々とそれを活かした豊かな学びの土壌を作っていくことが重要」と述べられ、出席された皆さんは共感する部分が多かったようです。

第2回グラウンド・ゴルフ交流会に参加しませんか？

金山町老人クラブ連合会では、単位老人クラブ未設置地区の60歳以上の方も参加できるオープン参加での「グラウンド・ゴルフ交流会」を開催いたします。この機会に是非、参加してみませんか？
※老人クラブ会員は各単位クラブ会長にお問合せ下さい。

- 【日 時】 10月8日(火) 8時～
- 【場 所】 金山川河川公園(給食センター裏) ※雨天時は中止となります。
- 【参加費】 500円(保険代含)当日徴収します。
- 【申 込】 9月20日(金)まで
- 【問合せ】 金山町老人クラブ連合会(金山町社会福祉協議会内)
☎52-2099

のばそう！ 健康寿命
担おう！ 地域づくりを

町制施行100周年を記念してミニバラを配布します！

100周年を記念し、全世帯へ「記念花」として「チュチュ・オプティマ」(ミニバラ)を贈呈します。チュチュ・オプティマは育てやすく、四季を通して咲くことができる品種です。皆さんのご家庭で大切に育て、美しい花に癒されてください。



▲記念花イメージ

【フラワーコネクション】

7月31日、8月1日に植栽地である大堰公園休憩所前花壇、金山町中央公民館前緑地、金山亭脇県道沿い花壇、金山中学校花壇のメンテナンス作業を4名のボランティアの方と実施しました。ガーデナーの青木真理子さんのご指導のもと、多年草の特徴や日頃の管理の注意等の意見交換を交えながら行い、参加したボランティアの方は「専門家の方と一緒に交流を含め、楽しく活動が出来る。お花好きの方とも一緒に活動をしていきたい」といった声もありました。ボランティアメンバーは随時募集しています。☎ 29-5628

【エコポットとは】

自然素材のものを使って出来た環境に優しい植木鉢です。100%自然素材を使用しているため、不要になった場合はそのまま土に埋めることが可能。歳月をかけて土に還っていく仕組みとなります。

【配布予定】

9月末～10月5日の式典前までの配布を予定し、エコポットに入れた状態で配布いたします。ポットに入れたまま、畑や庭、花壇などの地面に直接植えることが可能です。

全国高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技大会



▲共に戦った仲間と写真撮影をする一葉さん、双葉さん

7月26日から28日に長崎県長崎市総合運動公園かきどまり庭球場で令和6年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会が開催されました。大会には、羽黒高校3年樋渡一葉さん(三枝)と樋渡双葉さん(三枝)が出場しました。それぞれダブルスに出場し、一葉さんは3回戦敗退、双葉さんは4回戦敗退と惜しくも決勝には進むことができませんでしたが、団体戦ではベスト16入りするなど、全国の選手を相手に大健闘しました。今後の活躍も期待しております。

全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会



▲初のインターハイで大健闘の八鍬真心さん

7月28日から8月1日に福岡県福岡市東平尾公園博多の森陸上競技場で令和6年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会が開催されました。大会には、新庄東高等学校2年の八鍬真心さん(山崎)が女子円盤投げに出場されました。惜しくも予選2組目23位で予選敗退となりましたが、初のインターハイで堂々とした投てきを見せられました。今後の活躍を期待しております。

県大会、東日本大会、全日本大会に出場！ 強豪選手を相手に大健闘！

6月9日、山形市総合スポーツセンターで第14回山形県小学生シングルス選手権兼競技者育成プログラム選考会が開催されました。大会では、金山小学校6年柴田志乃さん(稲沢)が出場し、見事優勝を果たしました。また、7月13日から14日に、仙台市で開催された、第14回東日本小学生選抜ソフトテニス大会に出場し、団体戦で見事3位に入賞しました。翌月の8月1日から4日にかけては、第41回全日本小学生ソフトテニス選手権大会が岡山県で開催され、全国クラスの強豪選手を相手に臆することなく大健闘しました。今後の活躍も期待しております。



山形・東北・全国で活躍された柴田志乃さん



ご家庭のCO₂排出量の「見える化」に取り組みませんか？

町民の方が、各家庭で二酸化炭素をどのくらい排出しているかを可視化（見える化）することができる無料のウェブサイト「みんなの算定」をご紹介します。このサイトでは、各家庭で使用している「電力」「灯油」などの使用量のデータをもとに、家庭で排出している「二酸化炭素の排出量」を算定することができます。また、エネルギーの使用に伴う料金の管理も可能なので、光熱費の節約の意識向上も兼ねて、ご活用ください。



- ① メールアドレスで簡単アカウント登録
- ② 使用明細書や検針票を見て使用量などを入力
- ③ 家庭のCO₂排出量を「見える化」！

※利用料無料。パソコン、スマートフォンでご利用可能です。

CO₂見える化で家計を節約してデコ活！

【節約に活かせる】

毎月の家庭・事業所のデータを入力しておくことで、光熱費の管理ができます。
※過去にさかのぼって入力することが可能です。

【脱炭素につながる】

月々のCO₂排出量をグラフで見ることができ、環境への意識が高まります。

詳細はQRコードからご確認ください▼



脱炭素につながる新しい豊かな暮らし

国が掲げている「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、国民・消費者のライフスタイルの変革を後押しする新しいキーワードが「デコ活」です。

脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介しますとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。

※デコ活とは脱炭素 (DE) とエコ (Eco) と活動を組み合わせた新しい言葉です



やまがた環境展2024開催のお知らせ

循環型社会の形成及びカーボンニュートラルの実現をめざし、多数のブースによる体験など環境について楽しく学べる「やまがた環境展2024」を開催します。

【日時】 10月19日(土) 10時~17時 / 10月20日(日) 10時~16時

【会場】 山形ビッグウイング(入場料無料)

【内容】 県ホームページ「やまがた環境展2024」で検索

【問合せ】 山形県循環型社会推進課 ☎023-630-2302

【問合せ】 役場環境整備課 環境下水道係 ☎29-5631

ほっとクリニック

手洗い実験で正しい手洗いを身につけよう！

主任看護師 正野 亜津子

これまでも、何度か取り上げてきた「手洗い」ですが、今の時代コロナ・インフルエンザ・ノロウイルス等々、私たちの周囲には様々な病原体が身を潜め、悪さをしようとしています。病原体に感染しないための対策が重要であり、一番身近で簡単に効果的な方法が手洗いです。

- 手を洗わない場合、100万個のウイルスが手に残っており、流水で洗うだけでも、1%の一万個まで減少します。ハンドソープを使うことで、さらに数を減らすことができますと言われています。手洗いは、20秒〜30秒かけるのが理想とされていますが長く感じられるため「ハッピーバースデーチューン」を二回歌うのがおススメです。歌を歌いながらだと30秒が楽しくなるのではないのでしょうか。
- 正しく洗ったつもりでも指先や指の間、爪の間、親指、手首、手のひらは洗い残しが多い部分と言われています。そこで手の洗い残しをチェックする方法として「手洗い実験」があります。これは、小学校の高学年で学習する「ヨウ素でんぷん反応」を利用したものです。
- 材料として、片栗粉・お湯・うがい薬（ヨウ素含有のもの）・水等自宅にあるもので簡単にできるので子供と一緒にご家庭で実施してみてくださいいかがでしょう。
- 【実験方法】
- ① コップにお湯(400ml)を入れ、片栗粉(大さじ2)を少しずつ入れて混ぜる。(でんぷんクリームを作る)
 - ② 大きめの容器に水(1ℓ)と、うがい薬(大さじ2)を入れ混ぜる。(ヨウ素液を作る)
 - ③ いつものように手を洗う。
 - ④ でんぷんクリーム①を両手全体にすりこみ、乾燥させる。
 - ⑤ ハンドソープで手を洗う。
 - ⑥ ヨウ素液②に手を浸す。

- ⑦ 手をヨウ素液から出し、色がついているか確認する。
 - ⑧ 洗い残しがあるとヨウ素液と反応して色が付きます。十分に洗えていないとひと目でわかります。確認し終わったらきれいに洗い流しましょう。
- 毎日の生活の中で、正しい手洗いが身につく、日々の習慣になるといいですね。



金山町公式ホームページでは、毎月の外来担当医を掲載しています。右のQRコードからご確認くださいませ。ぜひご活用ください。



はじめての Birthday

はせべ うる 長谷部 初瑠ちゃん

【地区】 七日町
【誕生日】 8月23日

これからも笑顔で元気にすくすく大きくなってね~！
1歳お誕生日おめでとう☺

晴れて1歳の誕生日を迎える金山の可愛い子どもたちを紹介します♪





東京金山会通信 No.65



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

金山町出身者の企業・店舗様の情報登録の取組を紹介します

東京金山会では金山町と連携し、金山町出身者が経営または勤務する企業・店舗様の情報をホームページ掲載の形で登録し、ご紹介する取組を企画しております。

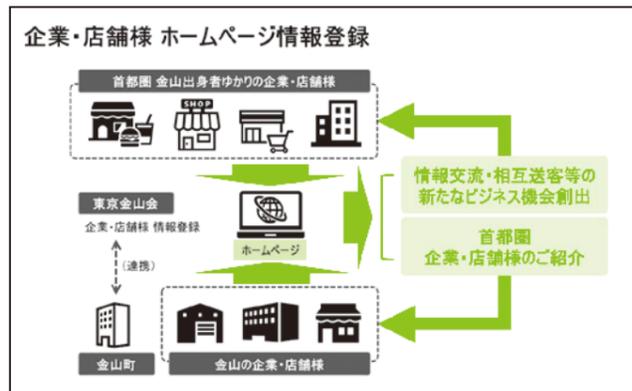
【目的】

- ▶在京の金山町出身者の企業・店舗様における、情報交流機会ならびに相互送客等の新たなビジネス機会の創出
- ▶在京企業・店舗様の情報を、金山町の企業・店舗様と連携することで、金山町・首都圏双方を繋げる形での情報交流機会、ビジネス機会の創出

【その他】

情報登録いただいた企業・店舗様同士の交流会の開催なども検討しております。「企業店舗登録のお願い」として、登録用紙でご案内しておりますので、ぜひご活用ください。

※在京の金山町出身者の企業や店舗様がいらっしゃいましたら、ぜひ本取組をご紹介いただきたく、よろしくお願いたします。情報登録のご希望、問合せは、事務局までお願いいたします。



【事務局】
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里1-43-6
mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 FAX: 03-6806-6277

ふんげい

金山杉俳句会報 第四九〇回

下駄箱の横が定位置麦わら帽
草笛を吹いて亡き友思い出し 阿部 一代

空青し月山大きく盛夏なり
梅雨晴間連々立ち参る観音堂 星川 キエ子

昨日まで小指のきゅうり摘み頃に
熟したる木苺口に鳥気分 高橋 洋子

山頂のキャンプ煌めく星冠り
蜘蛛の囀に気づかず慌て首球め 岸 昭子

老杉の裾野に揺るる釣鐘草
蹲の水音響く夏座敷 鶴沼 よし子

大輪の王者たらむと咲むタリア
鶏鳴に朝霧動く宮戸浦 栗田 弥超

かねやま紅風会

時流ハ夫の思い出ニラの花
食卓に香りを添へる夏料理
亡き友を偲びて供養の同期会 荒屋 阿部 勝子

夏椿き花の命の短かさよ
梅仕込み自慢の腕にほろ酔いし
梅雨末期屋根打雨の怖さかな 荒屋 関 喜美子

炎天や野良の木陰に一休み
白百合の佛間に香り漂ひし
雷雲や急に変わる夏の空 菅越 庄司 けみ子

潮の声に耳かす日暮ハ刻
「おかけさま」てふ門くぐる涼しさよ
手を握り互いに励ます夏の月 七日町 青柳 キエ子

激甚の爪痕残こし梅雨明け
静かさや夜風にまよふ初夏
涼む夜の東吹風に虫の声 上台 阿部 一步

森の子ども図書 No.223



すきま地蔵

作：室井滋
出版：白泉社

次々とビルが建ち並び、隙間から出られなくなってしまったお地蔵さん一家に、おつかいを頼まれたボク。困っている人たすけるために東西南北の町中を駆け巡る！そんな、お地蔵さん一家と男の子の優しさが胸に沁みる人情絵本。町の人とのふれあいに、思わずほっこり。この本を通して、人と人は支えあって生きていくものだと思える一冊。

図書室だより

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

笑う森

荻原浩／新潮社



森で行方不明になった5歳児真人。一週間後、無事に保護されるが「クマさんが助けてくれた」と語るのみ。叔父の懸命な調査で、4人の男女と一緒に居たことは判明するが、空白の時間は完全に埋まらない。森での偶然の出会いが導く未来とは。誰もが抱く、拭えない過去を浄化に導く、希望と号泣の物語。

はじめてでもかかんたん！小学生のお菓子づくり

浜本彩香／成美堂出版



お菓子作りには、ワクワクする瞬間が沢山あります。それは手作りでしか味わえない素敵な体験です。心を込めて丁寧に作ったお菓子は、買ったお菓子とまた違ったおいしさが出るので不思議です。お菓子作りに興味をもった小学生が、一人でも挑戦しやすいレシピを掲載。あなたもおうちでパティシエ！

森の子ども図書 No.224



悲しみのゴリラ

作：ジャッキー・アズーア・クレイマー
出版：クレヨンハウス

大好きな母親を亡くした少年の前に突然現れたゴリラ。少年とゴリラとの会話は、実際は少年の呟きである。その対話を通して、少年が少しずつ母親の死を受け入れ、同じ悲しみを父親と分かち合う姿を丁寧に描いた一冊。大切な人を失う深い悲しみを丸ごと、大きな腕で抱きしめてくれる絵本です。

告白撃

住野よる／角川書店



三十歳を目前に婚約した千鶴は、自分への恋心を隠し続ける親友の響貴に告白させる為、秘密の計画を立てていた。大人のやる事と到底思えないアイデアに呆れつつも、友人の果敢が協力してくれる事になったが、予想外の展開にこじれまくった恋と友情。大気な告白大作戦の開幕！

柘榴パズル

彩坂美月／文藝春秋



主人公の美緒は自分の家族が大好き。シヨコお母さん、源一郎お祖父ちゃん、大学生の友広お兄ちゃん、十歳の妹は桃子、三毛猫の龍之介。とても仲が良く笑いの絶えない家族。しかし暮間にちよこちよこ出てくる不穏な新聞記事。物語と何か関係があるのか？最後まで読み進めていった先には？著者は山形県出身。

怒らない習慣力

種市勝寛／WAVE出版



心と感情が整う平常心の作り方 怒らない習慣力
いつもイライラに振り回されるあなたへ。人生の質は、毎日どの感情で過ごすかで決まってしまうそうです。怒らない」を選択するだけで人生は驚くほど好転する。「イライラが消えた」「仕事がうまくいくようになった」「家族と仲良くなった」など驚きの声続出！怒らない習慣を手に入れてみませんか？

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※12・1・2月は17時閉館
※祝・盆・正月は休み



今月は7冊！

※()内作者名

笑う森(荻原浩)／はじめてでもかかんたん！小学生のお菓子づくり(浜本彩香)／告白撃(住野よる)／整体師ランナーが教える体に優しい走り方(がんばらないで楽に長く走る(鮎川良)／海を破る者(今村翔吾)／ざんねん？びっくり！文房具のひみつ事典(ヨシムラマリ)／にぎらないおにぎり(ココチャンネル)



祝祭日には



を掲げましょう

金山町町制施行100周年記念企画

わたしの願い

金山町町制施行100周年を迎えるにあたり、「わたしの願い」をテーマに町民の方々からご寄稿いただきました。これをきっかけに皆さんも今の自分を見つめ、金山町の未来について考えてみませんか？

金山町の拠点

金山健康ふれあいスポーツクラブ 会長 はぼの こういち 幅野 宏一さん



私が思うスポーツクラブは、地域の人々がクラブの事業に参加することで健康で楽しい生活を送るための拠点となることです。学校や企業、地域と連携したイベント開催により、町全体でスポーツを楽しむ文化を育てていけたらと考えます。クラブは誰もが参加しやすい環境を提供する必要があります。障害を持つ人や経済的に困難な人々も含め、幅広い世代の人々が好きなスポーツや文化プログラムを提供できる仕組みを作ることで、ニーズに応えることができます。単独では困難と考えますが、最上地区の各総合型スポーツクラブと連携することで可能性が高くなります。例えば金山町であればクロスカントリースキーなど各々市町村の特色を生かした形で拠点となることで、屋内外のスポーツ施設を充実させ、様々なスポーツやアクティビティを楽しめる場が増えることとなります。さらに、指導者やコーチスタッフを充実することで、参加者がスポーツの技術や知識を向上させることができる環境が整備されます。金山健康ふれあいスポーツクラブが地域の健康促進や活性化に貢献し、多くの人々が楽しみながらスポーツを通じて交流し、成長できる場として根付くことを願っています。

農業のこれからを思う

株式会社ままこや 代表取締役 かきざき まもる 柿崎 護さん

私の好きな詩に「生まれてから死ぬまで、腹は減り続ける」という一節があります。含蓄も何も無い至極当たり前の言葉ですが、この一節は老いも若きも、人というものは何かを食べなければ生きてはいけないという事を強く表していると思います。紹介が遅くなりましたが、私は金山町で農業を営む者です。手前味噌のようで恥ずかしいのですが、「生きる」を支える一助を担う農業はやりがいのある本当に素晴らしい仕事だと思います。しかし、農業を取り巻く環境は決して楽観視出来るものではありません。課題は山積し、その中で私には何が出来るのかを苦慮する日々です。その難題に対してはあまりに小さいのですが、私には一つの願いがあります。私は未来の為の踏み台になりたいと願います。若い世代が農業に関心を持ち、農業を生業とする。その土台となり、継続し発展していくきっかけとなるための踏み台。私の仕事の果てが、この町の農業に少しでも貢献できたのなら本望です。最後になりましたが、金山町町制施行100周年おめでとうございます。次の100年、そしてさらにその先の未来が稔りあることを祈念致します。



編集 後記

昨年の9月から企画をはじめ、約半年間続けた100周年記念映像の撮影が8月18日の「百年祭」をもって完了しました。町民の皆様には撮影場所の確保や道具の貸し出し、映像へのご出演など多くのお力添えをいただき、心から感謝しています。皆様から受け取った想いとご恩は素晴らしい記念映像にしてお返ししたいと思います。10月5日の公開を楽しみにしています。

金山町の人口は、4,745人 (7月末現在)

男性	2,350人 (-2)	▼7月の異動
女性	2,395人 (-5)	出生 1人
世帯数	1,700世帯	死亡 7人
		転入 2人
		転出 3人